

## 刃物を上手に使うには

副校長 角皆 裕文

毎日ほぼ同じ時刻に校舎内を見回ると、強い冷え込みが続く中でも少しずつ日は長くなり、思えばこの時期から、私たちの「顔を覆いながらの生活」が始まったのだと、しみじみ感じます。

保護者の皆様の協力のおかげで、緊急事態宣言下においても瀬ヶ崎小学校の子どもたちは変わらず元気な姿で遊び、学んでいます。感染症対策についてもこれまで通り、一つひとつ丁寧にやるべきことをやり、互いを思いやる気持ちを大切にして、この長いトンネルを抜ける日を待ちたいと思います。

### 変わりつつある学習環境

「誰一人取り残すことのない、公正に個別最適化された学び」の実現を目指し、2019年より文部科学省は「GIGA<sup>1</sup>スクール構想」を掲げ、令和元年度補正予算案において、児童生徒向けの1人1台端末と、高速大容量の通信ネットワークを一体的に整備するための経費が盛り込まれました。

これを受け、横浜市立学校では順次校内LANの強化工事が行われ、来年度からの「1人1台端末環境」のスタートに向けて整備が進んでいます。

また、ソフト面ではインターネットを活用した「新しい学習環境」づくりの一環として、先日各ご家庭で接続を確認いただいた、ロイロ社の提供する授業支援アプリケーション「ロイロノート・スクール」の活用を進め、来年度へ向けては、Google社の提供するビジネス用アプリを教育用に統合した「G Suite for Education」の導入を目指しています。

「ロイロ～」「G Suite<sup>2</sup>～」の活用においては、個人情報クラウド（外部のサーバコンピュータ）にて管理する必要があるため、運用に先駆け、4月には各ご家庭の同意を頂く予定です。

### 文房具としての情報端末

今、仕事でも家庭でも、社会のあらゆる場所でICTの活用が日常のものとなり、子どもたちにとっても情報端末は鉛筆やノートとならぶ「文房具」のひとつになろうとしています。そうした流れを背景に、学校もこれまでの学習スタイルに新しいツールを加えて、積極的に活用したいと考えています。

一方、子どもたちが情報端末に触れる時間が増えるということは、これまで以上に高い情報モラルを育む必要があります。大きな可能性をもった“文房具”は、使い方を間違えると、自分のみならず、他者に対しても取り返しのつかない傷を残してしまいます。

情報端末は便利さとその危険性からよく「刃物」に例えられます。刃物の扱い方を教えるのは大人にとっても勇気が要りますが、「危ないから使わせない」ではなく、発達段階に応じて「使って見せる」「大人と一緒に使う」そして「自由に使う」へと徐々に移行するなどして、道具の“正しい使い方”を教える必要があります。

学校の教育環境は時代とともに少しずつ変化していきませんが、この新しい取組も、子どもたちにとって豊かな学びをもたらし、家庭と学校の距離を近づけ、ひいては先生たちの業務効率の向上にも寄与できるものとなるよう、じっくりと進めて参ります。今後とも皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

<sup>1</sup>Global and Innovation Gateway for All の略    <sup>2</sup>「スイート（ひとそろい・一式）」